

冬季無加温栽培が可能な新規花き品目の検索

荒川 梢・佐々木丈夫*

(宮城県農業・園芸総合研究所・*元宮城県農業・園芸総合研究所)

Flower and Ornamental Plants for unheated Condition in Winter

Kozue ARAKAWA and Takeo SASAKI*

(Miyagi Prefectural Agriculture and Horticulture Research Center)

1 はじめに

花き生産現場では、近年の原油高騰による暖房費の増加が経営を圧迫している。そこで、冬季の低コスト栽培を目的として、施設における冬季無加温栽培が可能な切り花品目を検索するため、栽培試験と実需者（生花店）の聞き取りによる評価調査を行った。

2 試験方法

(1)栽培試験

1)供試品目・品種

表1・図1のとおり、冬季無加温栽培が可能と思われる4品目・品種（カンパニュラ「涼姫」、カタナンケ、アグロステンマ「ギタゴ」、リナリア「ヘロンシリーズ」）を供試した。

2)圃場条件：所内鉄骨ハウス。冬季保温は内張カーテン（農ポリ）一層。

3)耕種概要

表2のとおり、2006年に播種・定植を行った。

(2)実需者聞き取り調査

仙台市内の生花店3店舗に試作した花きを持込み、評価について聞き取り調査を実施した。

3 試験結果及び考察

(1)栽培試験

無加温ハウス内の最低気温は冬季でも-3℃を下回ることとはなく、いずれの品目においても寒害や凍害を受ける株はなかった（図2）。

開花期は、リナリアが最も早く1月初旬から開花を始め、アグロステンマとカンパニュラはそれぞれ3月下旬、4月下旬から開花した。カタナンケは開花が遅く開花始期が6月であった（表3）。

採花タイプは、カンパニュラとアグロステンマが一回切り、カタナンケとリナリアは多回切りであり、株当た

り採花本数はそれぞれ14、16、36、7本であったが（表4）、リナリアとカタナンケは栽培途中で試験を打ち切ったため、実際の採花はそれ以上可能と思われた。このうちリナリアについては、採花時期によって切り花品質にばらつきがみられ、また他品目に比べてうどんこ病に罹病しやすかった。

これらのことから、9月中旬播種で冬季無加温栽培した場合、供試した4品目のいずれも耐寒性あり、栽培が可能であった。切り花長で60cm以上あるものを商品性ありと判断した場合には、カンパニュラ、カタナンケ、アグロステンマ、リナリアで栽培が可能であったが、リナリアはうどんこ病に罹病しやすく、営利出荷は難しいと思われた。

(2)実需者聞き取り調査

カンパニュラは、主な切り花用途が家庭用・贈答用の店舗では優しく柔らかい雰囲気が良い、様々な使い方に利用できそうであるという意見があったが、葬祭用が主の店舗では雰囲気が繊細すぎる、スタンド花には使いにくいといった意見も聞かれた。

カタナンケは、主な切り花用途が家庭用・贈答用の店舗ではアレンジメントや花束に利用できそうである、花色が良いとの意見が聞かれたが、葬祭用が主の店舗では使わないという意見であった。また、市場価格はあまり期待できないという意見も聞かれた。

アグロステンマは、1花あたりの花保ちが悪く、茎が折れやすいので使わない、市場価格は期待できない、リナリアは、花全体が軟弱、扱いにくいという理由から使いにくいという評価であった。

4 まとめ

9月中旬播種で冬季無加温栽培した場合、カンパニュラ「涼姫」、カタナンケ、アグロステンマ「ギタゴ」、リナリア「ヘロンシリーズ」のいずれの品目も耐寒性があり、リナリア以外の3品目は商品性のある切り花が採花可能であった。実需者の評価は、全般的にカンパニュラ「涼姫」とカタナンケで高かった。

表1 供試品目・品種(系統)名

品目名	科名	属名	種名	品種名	原産地	入手先
カンパニュラ	キキョウ	<i>Campanula</i>	<i>rapunculus</i>	涼姫	ヨーロッパ シベリア西部 アフリカ北部	(株)サカタのタネ
カタナンケ	キク	<i>Catananche</i>	<i>caerulea</i>	CUPID'S DART	ヨーロッパ 西アジア	サットン社
アグロステンマ	ナデシコ	<i>Agrostemma</i>	<i>githago</i>	ギタゴ	地中海沿岸	タキイ種苗(株)
リナリア	ゴマノハグサ	<i>Linaria</i>	<i>maroccana</i>	ヘロンシリーズ	モロッコ	タキイ種苗(株)



図1 供試した品目

(左から、カンパニュラ、カタナンケ、アグロステンマ、リナリア)

表2 耕種概要

品目名	播種日	定植日	株間 (cm)	条間 (cm)
カンパニュラ	9月15日	11月22日	30	30
カタナンケ	9月15日	11月22日	30	30
アグロステンマ	9月19日	10月18日	15	30
リナリア	9月19日	10月18日	15	30

表3 開花時期

品目名	開花期間 (月/日)	平均開花日 (月/日)
カンパニュラ	4/27～6/5	5/21
カタナンケ	6/1～7/23× ^z	6/25
アグロステンマ	3/30～5/21	4/27
リナリア	1/5～3/31× ^z	3/1

^z ×印は採花の打切りを表す

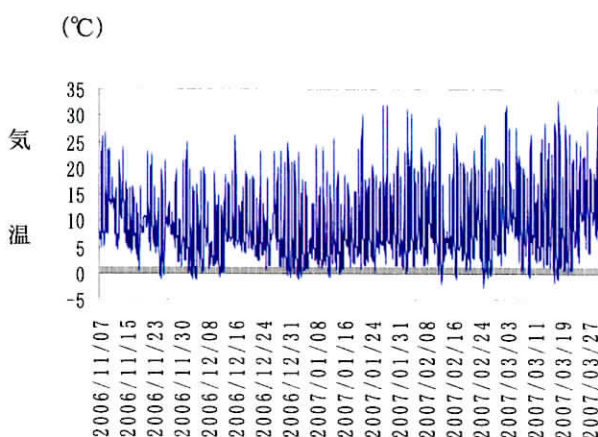


図2 無加温ハウス内の気温経過 (11月～3月)

表4 切り花品質 (全期間の平均)

品目名	花色	切花長 ^z (cm)	切花重 (g)	花径 (cm)	採花タイ プ	株当たり 採花本数 (本)
カンパニュラ	薄紫	117.8	43.1	2.4	一回切り	14
カタナンケ	薄紫	74.8	13.9	3.7	多回切り	36
アグロステンマ	赤紫	163.8	92.2	6.0	一回切り	16
リナリア	白、黄、紫、赤紫	86.2	38.6	未測定	多回切り	7

^z 切花長60cm未満は商品性がないと判断し除いた

表5 生花店の評価

生花店名	生花店A	生花店B	生花店C
切り花の用途・使い方	家庭用・アレンジメント	贈答用・花束	葬祭用・籠、スタンド
カンパニュラ	・柔らかい雰囲気が良い ・アレンジメントに使ってみたい ・様々な使い方ができそう	・優しい感じが良い ・色々な用途に使えそう	・雰囲気が繊細すぎる ・スタンド花には、雰囲気と茎の弱さから使いにくい
カタナンケ	・アレンジメントに使ってみたい ・花色が良い	・アレンジメントや花束に使えそう ・市場価格は期待できない	・こういった風合いのものは使わない
アグロステンマ	・1花あたりの花保ちが悪く、 茎が折れやすいので使わない	・市場価格は期待できない	・1花あたりの花保ちが悪く、 茎が折れやすいので使わない
リナリア	・軟弱なので使わない	・線が細く若い人が好むタイプ である	・扱いにくいので使わない